

## 国産ヘナ 『グランド RQ ヘナ』のメニュー化

### 国産ヘナ『グランド RQ ヘナ』の取扱いを始めました

#### ヘナとは

新葉を乾燥させて粉末にしたものが昔から植物染毛剤や薬剤、防腐剤として使用されてきました。インド伝承医学アーユルヴェーダでも、皮膚病予防・止血・おでき・やけど・打撲傷・防腐剤・皮膚炎などの薬剤として使われてきました。

草木染めとしての歴史は古く、あのクレオパトラもヘナを利用して髪、唇、爪に色づけして、その神秘性を増していたと言われています。

日本でも随分前から、自然派志向としての美容室を中心に、ヘナとインディゴ、ターメリックを駆使しアレルギー体質、健康志向（ロハス思考）頭皮改善、毛髪改善を目的とした、白髪染め、お洒落染めトリートメントとしてヘナの取扱い店が増えています。

サロンに於けるハーブカラーとして認められると判断されたハーブは3種類のみそれが 『ヘナ』 『インディゴ』 『ターメリック』です。

国内で販売されているヘナの中には、残念ながらハーブカラー類ヘナ（ヘンナ）とインディゴ（ナンバン藍）のミックスハーブ、それに数種類のハーブを加えた製品にも「天然100%」と表示されていたり、「PURE100%」、「NATURAL100%」の表記がされていても中身は偽物であったり、ケミカルが含まれているようなヘナが多く存在してしまっている現状があります。

#### michi のこだわり【天然100%ヘナ】

健康的で持続的なカラーリングをしていくこと、頭皮改善・毛髪改善の効果が期待できること、さらにはアレルギー体質の方でも使える「究極の安心安全ヘアカラー『ヘナ』」だからこそ、そのクオリティにはこだわるべきと考えています。

## 天然100%のインド産 HQヘナと 国産グランドRQヘナについて

### 天然100%HQヘナ インド産

現在 michi で使用しているヘナは、インド KEO 社の手選別 天然 100%ヘナです。

『ヘナ』 インド北部には広大に広がるタール砂漠があります。そこにラジャスターン州ソジャットという街があります。世界でも有数、高品質ヘナの産地です。業界でもヘナ=ソジャット産といわれるほど有名です。

『インディゴ』 南インドのタミルナードゥ州チェンナイから車で4時間ほどのところにインディゴファームがあります。  
サバナ気候で年2回の雨期があり、水の豊かな地域で栽培されています。

収穫したヘナには、ヘナの葉と枝と種、砂漠の砂、その他の不純物が含まれています。  
それを機械選別で取り除いていき、グラインダーにかけて微粉末にすることでヘナが完成します。

しかし、それだけでは15~20%不純物が含まれてしまうことがわかりました。  
そのため KEO 社では、更に高品質なヘナ葉のみに分別するため、さらに手選別をすることにより純度の高いヘナを実現することができました。

インドではそこまでの先行投資と品質を求めないのが現状なので、最高品質のヘナの製造というのは日本人の文化やこだわりを追求したインドで唯一の日系ヘナファクトリーの KEO 社のみです。

社長のサニーさんは日本の製造工場を繰り返し視察して日本のクオリティを学び、日本人の細かいニーズに応えるべく手選別の高品質なヘナの製造に日々企業努力を積み重ねています。

2019年3月 サニー氏が日本に来日した際 一緒に食事をさせて頂きました。



## 国産ブランド RQ ヘナ

今年製品発売の沖縄産ブランド RQ ヘナはこの上ないこだわりのヘナ

この度、「国産ヘナ」ブランド RQ ヘナを取扱うにあたって、各方面から様々な情報を仕入れ、さらに私たちも現地へ行き、刈り取りから製造方法までを実際に体感してきました。

大切な事は 成分分析もきちんとクリアされている「天然100%高品質にこだわる」こと。

生産地から製造化まで自分の目で確かめることで、皆様に『国産ブランド RQ ヘナ』の素晴らしさをより詳しくお伝えできればと思っております。

沖縄産と表示されているヘナの中にも、インド産ヘナに沖縄産を混合していたりその他のアジア地域で育てられたヘナ葉を沖縄で加工している製品もあるようです。

沖縄県内にヘナ畑は存在しているとはいうものの、その収穫方法、乾燥からパウダー化、製品化までが大きく異なるため、すべてを「沖縄産ヘナ」と一括りにすることは出来ません。確認の為、メーカーインストラクターが沖縄産ヘナを取扱う3社にヘナ畑と工場の見学を申し込みましたが、3社共、協力できないと回答がありました。

沖縄でヘナを栽培している農家やヘナ畑について情報収集した結果、何とかたどり着いたのが、沖縄南部にある琉球ヘナのパイオニア中里さんのヘナ畑でした。その畑に関しては、実際に見学し、刈り取りから製品化までの確認を快く承諾してもらえたそうです。

miichi で導入するヘナは、中里さんのヘナ農園のものです。

既に琉球ヘナを10年研究し、ゼロからスタートされて現在のヘナ農園の規模まで育てられました。

**沖縄南部にありますヘナ畑です**



他の沖縄産ヘナでは、ヘナの木を根こそぎカット（インド式）し、年に2回から3回の収穫ですが、中里さんのヘナ農園の第1のこだわりは大きく育ったヘナの葉のみを剪定ばさみでカットすること。そのことで毎月収穫する事が可能となります。

成長した葉のみをカットすることでヘナの葉は大きく育ち、ヘナの有効成分であるローソニアアルバが沢山含まれます。

左：インド産ヘナの葉

右：沖縄産ヘナの葉



収穫したヘナの葉は枝ごと天日乾燥し、専用の乾燥機で十分乾燥させてからヘナの葉のみを分け取り、不純物を徹底的に取り除き、製粉機にかけ、製品となります。



## インストラクターからの沖縄ヘナ畑レポート

沖縄の土壌はいくつかありますが大きく分けて沖縄南部はジャーガルと呼ばれアルカリ性の土壌でヘナ栽培に最も適しています。

”やんばる”と言われる北部の土壌は酸性ですから土壌改良が必要ですが、沖縄ヘナの成長はインド産ヘナと比べて早いです。



この大きな葉がヘナの葉です。

沖縄産ヘナは肉厚で重量比でインド産の6倍強あります。それだけ染料も多く含まれます。

沖縄の土壌とこの気候は最もヘナにあっており、沖縄こそがヘナの栽培に向いていることがよく分かります。

「インドの砂漠がヘナにあっている」と思い込んでいましたが、インストラクターとしてそれが誤りであったことを痛感しています。



沖縄ヘナは現在3種あり、起源であるであろうインドのヘナとは違って、数世紀を経て、沖縄の気候にあった進化を遂げて現在に至っています。

8月から2ヵ月後ごとの記録ですが、成長が早く、台風にも強く育っております。

## 国産グランドRQヘナの特徴

沖縄産の数種類存在するヘナの品種の中でもっともローソニアアルバが含まれている品種を限定し、大きく育ったヘナの枝のみを剪定ばさみでカットすること。きめ細かく手をかけることで、素晴らしいヘナができあがります。

- ①香りが優しい
- ②感触がやわらかい
- ③素晴らしいツヤ
- ④クシ通りが良い
- ⑤濃く染まる
- ⑥毛先の硬さが出にくい
- ⑦色味が異なる（やや赤味が強い）
- ⑧サンドと呼ばれるインド産特有の砂（0. 数%含有）が含まれていない



## サロンレポート【 インド産ハイクオリティーヘナと国産ブランド RQ ヘナ比較】

### 左右 塗りわけ検証

右 インド産ハイクオリティーヘナ

左 国産ブランド RQ ヘナ



HQ

RQ

### 1回目

ペースト状のヘナの色や滑らかさ、臭いも違います。

## シャンプー1回目



インド産 HQ は、やや黄色に近いオレンジ系。沖縄産グランド RQ ヘナは赤味のあるオレンジ系。色味に関しては好みがありますが、赤味の方が濃いぶん、深く染まった印象になります。

20日後色の退色も、左右で若干違います。

そのまま2回目のヘナ



また左右で塗り分けました。

黄味オレンジと赤味オレンジ  
色味の違いがさらに良くわかります。

### シャンプー-1回目



HQ

RQ

### ヘナレポート 2回目



HQ

RQ

色の濃さは1回目から変化があり、2回3回と頻度によって濃さや深みが変わる印象です。  
また、手触り（トリートメント効果）が高いので、コンディションを気にされている方にもお勧めです。

### 【美容室 michi 社員研修 レポート】

国産ヘナの視察調査のため沖縄南部にあるヘナ農園へ行き、国産ヘナ栽培のパイオニア中里さんからヘナ畑の刈取りやヘナの乾燥、苗の植付け工程など沢山のお話を聞いてきました。

～時間と手間のかかった 国産ブランド RQ ヘナ が出来るまで～ in 沖縄

発芽した苗をプランターから 小分けに



地植えされたへナ。収穫出来るのは、種から2年かかります。

曇り空からお天気になりました！



天日干しをしてからしっかり乾燥



#### 徹底した温度管理と湿度管理



この後、枝を目視で取り除き、その後グラインダーと呼ばれる粉砕機に合計 6 回掛けます。手選別で取り除けなかった枝、葉脈、不純物は粉砕と同時に目の細かいメッシュフィルターを通るため完璧に取り除かれます。琉球ヘナは 150 メッシュという細かさに相当する微粉末に仕上げられます。

ここまでのこだわり、繊細な技術、全てが手作業という日本人ならではの職人技を間近で体験し、とても感動しました。

## ヘナインストラクターより

現在、琉球ヘナ、国産ヘナ、沖縄ヘナなどで検索すると様々な情報、製品が出回っています。

そのほとんどを購入して、ヘナ畑と工場の見学を申し入れましたが何処の会社も受け入れて頂けませんでした。

沖縄ヘナ、琉球ヘナ、国産ヘナといううたい文句で出回っている商品は現在のところ10製品ほどありますが、検証したところ、純粋に100%沖縄琉球ヘナはありませんでした。

10~50%が琉球ヘナで、それ以外は外国産を加えて製品化されています。国産であっても、インドヘナの種で育ったヘナ畑も沖縄県内には沢山存在しています。

沖縄には琉球ヘナと呼ばれる品種が3種確認されています。その内のどれを育てているヘナ畑なのかがとても大切なのです。